

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	都市景観課長	関沢 勝也
都景-02	歴史的遺産と共生するまちづくり推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	都市景観課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的風致
意図	歴史的遺産と共生するまちづくりの視点に立った計画に基づき、事業を着実に推進するため。
効果	鎌倉市歴史的風致維持向上計画に基づく事業を実施することにより、歴史的遺産と共生するまちの実現が図られる。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・鎌倉市歴史的風致維持向上計画の推進を図るために、計画に登載した構成事業の進行管理を行った。また、令和2年度に実施した中間評価の結果を踏まえ、計画の一部見直しについて検討し、変更計画案を取りまとめるとともに、変更計画について国へ認定申請を行い、国の認定を受けた。併せて、構成事業の更なる推進を図るため、国支援制度の活用による事業財源の確保について検討し、令和4年度から令和7年度を計画期間とする社会資本整備総合計画(街なみ環境整備事業)を作成し、国の承認を得た。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	歴史的風致維持向上計画推進事業	歴史的風致維持向上計画協議会委員報酬等	計画に登載した構成事業の進捗率(%)	65 / 60		65	108.3%
02			歴史的風致形成建造物の指定(件)	405 / 456		3,521	
				1 / 1		1	100.0%
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/		1,529	
			地方債	/			
			その他特定財源	/	30	4	
			一般財源	405 / 426		1,988	
			<b>事業費の合計(千円)</b>	405 / 456		3,521	
			<b>人件費(千円)</b>		7,587	7,686	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	1.0			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	歴史的風致維持向上計画推進事業	計画に登載した構成事業を着実に推進していく必要があるため。	本計画では歴史的風致の維持及び向上に寄与する事業を構成事業として位置付けているため、構成事業を推進していくことが歴史的遺産と共生するまちづくりの推進に寄与している。	これまで進捗状況が思わしくない事業の内容の見直しや、国支援事業の活用等について検討していく必要がある。
02		歴史的風致形成建造物を指定することで、歴史的風致の維持向上に資するため。		
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある
			協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

<p>【今後の方針】    <input type="checkbox"/> 拡充                    <input type="checkbox"/> 改善・変更                    <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持                    <input type="checkbox"/> 縮小                    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>鎌倉市歴史的風致維持向上計画に登載した構成事業及び歴史的風致形成建造物の指定について着実な推進を図り、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を進めていく。構成事業を着実に推進していくため、国支援事業の活用を図るとともに、官民連携の推進について検討していく。</p>
--

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	計画に登載した構成事業の進捗率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
構成事業を着実に実施することで、歴史的風致の維持向上を図るため。	目標値	60.0	60.0	65.0	65.0	70.0	75.0	
	実績値	60.0	65.0					
	達成率	100.0%	108.3%					

指標(単位)	歴史的風致形成建造物の指定						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
歴史的風致形成建造物を指定することで、歴史的風致の維持向上に資するため。	目標値	1	1	0	1	0	1	
	実績値	1	1					
	達成率	100.0%	100.0%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	歴史的風致維持向上計画を策定している自治体							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市
他市実績	○				○			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県内で歴史的風致維持向上計画を策定し、歴史まちづくりを推進する自治体は本市と小田原市のみである。日本を代表する古都である本市では、「歴史的遺産と共生するまちづくり」を推進するため、歴史的風致を維持向上させる計画の実現に着手に取り組んでいくことが必要である。
----------------------	---